

一般質問

働き方改革について

市職員の働き方改革に取り組み！

佐藤議員 市職員の削減や適正化が進められている一方で、仕事の量や仕方など見直しが後追いになってきている気がする。同時進行で進めていくことが重要と思うが見解を伺う。また、市役所としてワークライフバランスを実践に移す観点から、職員のモチベーションをあげる意味でも、方針や目標、具体的な取り組みなどを分かりやすくまとめてみてはどうか。

不嶋市長 定数の適正化は、第1次、第2次も目標を達成し、現在は第3次が進行中。実際、仕事量や仕方をそのまままで定数削減はとても難しい状況。採用から退職まで仕事と生活がバランスよく調和し、安心して働くことができる職場環境づくりに本腰を入れていく時期である。仕事量のスリム化、官民の役割分担の見直し、そこに市役所の本来の仕事以外の業務もあり、洗い直しする必要がある。さらに民間委託の推進、諸行事の精選などに取り組み、いい職場づくりにしたい。また、日々の仕事の中で知恵を出し合い、ボトムアップでワークライフバランスのとれた職場づくりを行うことも大切であり、職員が一丸となって取り組めるような実践例などを提案し、目標を達成するためのインセンティブなどを留意しながら、職員のやる気や意欲を引き出す取り組みを加速させていきたい。

- 【その他の質問項目】
- 時間外労働の実態
- 看護師確保の取り組み
- 歩道橋建設



佐藤 喜典 議員
(市民クラブ)



働く様子

一般質問

水難事故対策と熱中症対策について

夏に向けて徹底した安全対策を！

大林議員 夏休みも近づいており、いろいろな事故が増えてくる。昨年、子どもの水難事故が全国で202件もあり、海や川でのいろいろなケースの事故があるが、どのような安全対策を考えているのか。また、夏場の熱中症対策について、どのように考えているのか。

高教育長 学校では、日ごろから水難事故だけではなく、危険な場所に行かないなど安全面での指導をしている。特に、遊泳禁止区域や危険な場所では絶対に泳がないよう指導している。小学校の授業では、着衣のまま水に落ちた場合の対処方法についても指導している。なお、学校教育ではプールでの飛び込みは禁止となっている。その他、日ごろの学級指導のなかで危険回避のための指導をしたり、夏休み前に地区や地域での子どもたちの集まる場でも十分に指導をしたりしている。学校以外でも地域や家族が繰り返し何度も指導していくことが大事である。また、熱中症対策としては、日ごろから児童生徒の体調管理を十分に行う、帽子の着用、小まめに水分の補給をさせる、日陰での休憩時間を確保することなど、十分な注意喚起を行っていく。



大林 吉正 議員
(灘会)



一般質問

能登立国1300年について

歴史遺産を観光誘客につなげよ！

桂議員 能登立国1300年と建設予定の能登歴史博物館について、能登の活性化、観光誘客に千載一遇の好機だと考えているが、古代能登のこれまでの歴史的事象を広く掘り起こして能登立国1300年物語を作り、これをキーワードに能登の誘客に繋げてもらいたい。これを仕掛けるのは、やはり七尾。国府のあったのは七尾であり、今でも能登半島広域観光協会や能登の市長会、議長会なども七尾にある。七尾が中心となって、実行委員会を作り、取り組んでいた方がいいと思うが、見解を伺う。

不嶋市長 七尾にある地域資源を1300年から改めて、物語として紡ぎ、それをしっかりとPRしていくことが大事。歴史や文化を再認識し、地域の誇りや愛着などを次世代に繋いでいくという意味で、1300年は節目であり、新たなスタートの年でもある。展開としては国府のあった七尾が理想。博物館には、オール能登で1300年にまつわるPRができるコーナーの設置や文化団体とのコラボレーションも考えており、教育委員会とも検討していく。仕掛ける組織としては、能登半島広域観光協会があり、今後能登を大きくPRできるイベントを検討中で、連携を取りながら、七尾に、能登に人を呼び込む取り組みをしていきたい。

- 【その他の質問項目】
- 軽度者介護対策
- 教職員の部活動指導と勤務時間
- 移住定住者の交流会の必要性



桂 撤男 議員
(灘会)



能登歴史公園